

【九州大学 国際協力セミナー】

6/20金・25水 17:00~19:40

命の重み

—ゴラン高原・

中央アフリカから考える—



ゴラン高原・ヘルモン山の除雪をする UNDOF



任務に従事する自衛隊員



平和維持部隊と争う中央アフリカ軍兵士 (AP)



避難民であふれるバング国際空港 (UNHCR)

ルワンダ内戦から 20 年、自衛隊イラク派遣から 10 年にあたる今年。その陰で人知れずに起きていた 2 つの出来事。一つは、シリアの内戦激化に伴う「ゴラン高原国連兵力引き離し監視軍 (UNDOF)」からの自衛隊撤退、もう一つは中央アフリカで続く虐殺と人道危機。

イスラエルとシリア国境に位置するゴラン高原、極度な緊張下におかれた自衛隊員のストレス管理について、陸上自衛隊医官として当時調査にあたった真崎が振り返る。

中央アフリカについては、2011 年現地に直接入った香川が、紛争前の市街を紹介しつつ、虐殺が起きた経緯と紛争予防について考察する。

※セミナーは両日とも同じ内容です。

講師 真崎義憲 (医師、基幹教育院 学修・健康支援開発部 准教授)
香川顕夫 (国際交流推進室 特任教授)

申込み・問合せ

●場 所: 6/20 (金) 箱崎キャンパス・国際部 2 階奥会議室 (中央図書館前の 2 階建ビル)

6/25 (水) 伊都キャンパス・1302 教室 (センター1号館 3 階)

●申込方法: 件名を「セミナー (命の重み) 申込み」として、①希望日、②氏名、③フリガナ、④学科・学年、⑤連絡先 (PC のメール)、⑥応募の動機、関心のあるテーマ (200 字以内) を記入し下記アドレスに送付 (締切り: 6 月 17 日)。※申込み多数の場合は抽選

●問合せ先: 国際交流推進室 香川 電話: 092-642-4122 メール: intlkaigai@jimu.kyushu-u.ac.jp → 検索 九大・国際協力